

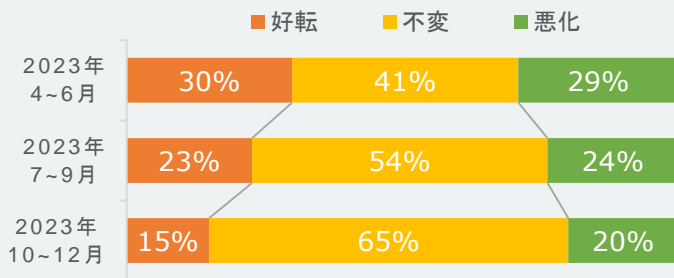
川崎商工会議所 中小企業景況調査 2023年7~9月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80 事業所 ●調査時期 2023年 8月 22日～ 9月 1日

1 業況について

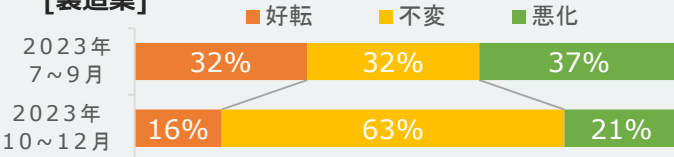
◆今期（7～9月）は悪化が減少したものの、好転も同様に減少し、半数以上が不変と回答している。建設業で悪化が0となった一方で、製造業・小売業では3割以上を占め、依然として需要の停滞、原材料等の価格上昇が影響していると窺える。

◆来期（10～12月）の予測も、全体としては不変としている事業所が多い。また、ほとんどの業態で好転が減少する中、建設業では増加し、3割以上と前向きな兆しが窺える。

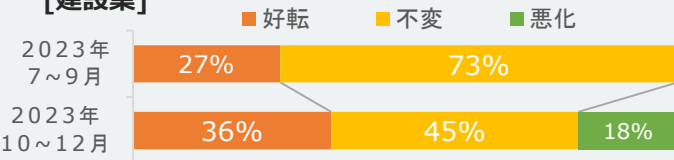


■ 業種別

[製造業]



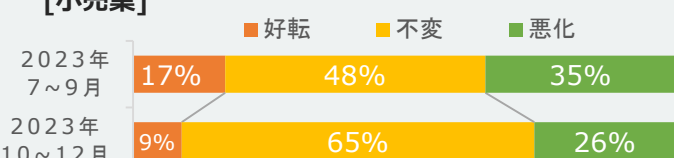
[建設業]



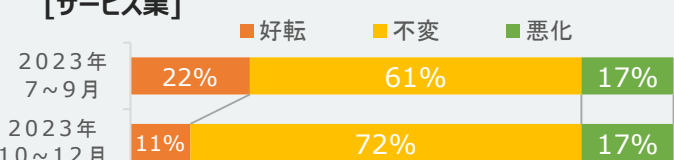
[卸売業]



[小売業]



[サービス業]



2 設備投資について

[今期（2023年7月～9月）]

実施した：10% 実施していない：90%

<実施内容>

車両・運搬具	OA機器	土地	設備	その他
44%	22%	11%	11%	11%

[来期（2023年10月～12月）]

計画している：14% 計画していない：86%

<計画内容>

設備	OA機器	建物	車両・運搬具	付帯施設	その他
29%	29%	14%	14%	7%	7%

3 経営上の問題点 [複数回答]

◆前期に引き続き、原材料価格（仕入単価）の上昇が全ての業種において課題となっている。

◆一方、製造業・建設業で熟練技術者の確保難が増加しており、人手不足が顕在化している。

[製造業]

1位	需要の停滞	58%
2位	熟練技術者の確保難	42%
3位	・原材料費・人件費以外の経費の増加 ・原材料価格の上昇	32%

[建設業]

1位	材料価格の上昇	55%
2位	熟練技術者の確保難	45%
3位	材料費・人件費以外の経費の増加	36%

[卸売業]

1位	仕入単価の上昇	67%
2位	・新規参入業者の増加 ・人件費以外の経費の増加 ・需要の停滞	22%

[小売業]

1位	・仕入単価の上昇 ・需要の停滞	39%
2位	人件費以外の経費の増加	30%
3位	・消費者ニーズの変化への対応 ・店舗の狭隘・老朽化	22%

[サービス業]

1位	材料等仕入単価の上昇	50%
2位	・人件費の増加 ・人件費以外の経費の増加 ・需要の停滞	33%